

第11回 インタビュー

■家庭医として
家庭医として父の後を継いでから21年が経過し、人を診る医療は継続が大事であると実感しています。

家庭医は、適切な初期対応と必要な医療を選び継続して提供支援するという役割と、多職種と連携して家族のように寄り添うことが大切だと感じています。治療だけでなく、人生の質を高めるように対話と医療支援を積極的に行っていきたいと思っています。

また、市民から信頼される「かかりつけ医療機関」として、専門領域だけでなく総合的に患者さんを診るために、日々勉強しスタッフ全員でこれからも一生懸命に頑張っていきたいと思います。

■診療について

有床診療所として外来・入院診療を行うとともに、心ある介護福祉関係者の方と連携し難病患者等の在宅診療も行ってきました。消化器内視鏡の専門医として、胃・大腸カメラ検査などを行っており、技師育成などにも力を入れ安心・安楽な検査と、その精度を高



芳野医院 平泉 泰院長

めることを心がけております。

■健診結果・薬手帳は忘れずに

受診時には、特定健診等の結果や他の医療機関で処方されている薬を持ってきたりいただくことで、より安全安心な医療を提供できます。薬手帳を2冊3冊持っている方もいますが、今飲んでる薬がわかるように薬手帳は1冊にまとめて持つてほしいと思います。

■高齢者の支援について

勝山市の高齢者医療は、志ある先生方の日々の努力により恵まれていると思います。私達は高齢者自身が人生を楽しめ、家族に安心感を与えられるような人生の質を考慮したかわりが大切であると考えています。健康を保ち、今までの生活のまま老いを迎えられるような環境を整える支援が必要です。

■「ありがとう」は意欲の源

患者さんから「ありがとう」と言ってもらえるときが一番うれしいです。24時間救急患者を受け入れ忙しい日々を送っていますが、「ありがとう」の言葉が、診療を続ける意欲の源になっています。患者さんの一言がよりよい医療を育てることにつながると思います。

■最後に

最後に、医師・看護師等の医療スタッフがチームになり家族の一員として診療にあたるような明るく優しい医療ユニット（有床診療所）を目指して日々診療を続けていきたいと思います。

ストリートフェスに参加

8月24日に行われた「ダイノソニック（勝山まちなかストリートフェス）」に参加したエコ協の2団体の活動内容をご紹介します。

◆いのせポノくらぶ（一般事業の部）

里いもを使った「当地バーガー」のいせ☆さといも「バーク」を初めて販売しました。米粉を使ったクレープのような生地で具材をはさむなど他とは違うバーガーに仕上げました。実際に食べていただいた方からは「おいしかった」「冷たくてもおいしい」とうれしいお言葉をいただきました。商品や販売時の課題はまだまだ山積みですが、一つひとつ改善し、よりおいしい物をご提供できるように工夫していきます。



◆あすぷろ（新規チャレンジ事業の部）

環境美化活動としてゴミの分別ステーションを運営しました。何度も使える材質でゴミ箱を制作し、当日は缶やペットボトル、割り箸や食べ残しなど細かく7種類に分

けて回収しました。ゴミ箱のそばにはスタッフが常駐し、捨てる際の分別案内をすることで、捨てる側の協力を得やすい工夫をしました。

イベント・募集案内

◆「勝山の巨木をめぐる観察会」

エコ協の自然環境部会員が同行し、巨木の解説をします。

参加ご希望の方はエコ協事務局にお申し込みください。

と き▼9月28日（土）

午後1時～4時（小雨決行）

集 合▼市役所裏駐車場

行き先▼平泉寺菩提林、若宮の大杉

定 員▼20人 費用▼1000円

持ち物▼山歩きの服装、筆記用具

◆エコミュージアム協議会会員募集

エコミュージアムによるまちづくりを一緒にしませんか。興味のある方はどなたでも会員になれます。応募方法▼入会申請書に必要事項を記入し、会費を添えてエコ協事務局に提出してください

会 費▼団体会員 1000円

個人会員 500円

事務局（市民交流センター内）

87・1011

（文章） 広報委員 小玉 理恵

年金

国民年金保険料を納め忘れてる方へ

年金額アップ・年金の受給資格を得られます

後納制度の活用を！

過去10年以内の納め忘れた保険料を納めることができる「後納制度」をご存知ですか。

過去10年以内の保険料を納めることで、将来の年金額を増やしたり、年金の受給権につなげたりすることができます。

1か月分の後納保険料を納めることにより
高齢基礎年金が増額される目安

$$\frac{778,500\text{円}^*}{480\text{か月} (12\text{か月} \times 40\text{年})} = 1,621\text{円} (年額)$$

※平成25年10月から満額の基礎年金額

※後納制度は事前申し込みが必要です。また、審査の結果、後納制度をご利用いただけない場合があります

国民年金保険料専用ダイヤル ☎0570-011-050
市民課（市役所1階） ☎88-8102、福井年金事務所 ☎0776-23-4518

受給資格期間が短縮されます

年金機能強化法により、平成27年10月から受給資格期間が、これまでの25年（300月）から10年（120月）に短縮される予定です。

これまで受給資格期間を満たさなかった方が年金を受給できる場合や、後納制度を利用することで受給できるようになる場合があります。

ねんきんネットをご利用ください！

これまでの年金記録を確認できる「ねんきんネット」の記録を市民課窓口で発行します。ぜひご利用ください。

必要なもの▶基礎年金番号の分かるもの、印鑑、本人確認のできるもの（運転免許証など）、委任状（代理人の場合）

「勝山エコライフ」コラム



第21回 勝山の里山の魅力と課題

◆SATOYAMAイニシアティブ

9月8日から、「SATOYAMA（里山）イニシアティブ」という里山に関する国際会議と、関連イベントが県内で開始されます。鹿谷、荒土、村岡の各小学校の児童も発表しますし、勝山でも11日に「里の達人サミット」が行われ、里山見学も予定されています。

里山とは、集落まわりの人の手が持続的に入ってきた山を示します。集落や農地まで含めて里山と呼ぶこともあります。この里山が近年注目されています。かつての「人が永く使いながらも、資源を枯渇させず、生物の多様性も維持する」という仕組みが、持続可能な社会創りのモデルとなる可能性があるからです。

◆勝山の里山の魅力は？

里山の魅力は、機能、景観、生物多様性、生産の場など様々です。私が勝山で最も魅力だと思うのは、かつての日本を代表する生き物が現存していることです。管理された林ではギフチョウが飛び、

里山は宝物 維持していくために里山を知ることが大事

ランの仲間もあります。赤とんぼの存在も魅力です。太平洋側ではほとんど失われた「かつての里山」の姿がまだあるのです。

◆里山の課題は？
課題も山積んでいます。勝山では広葉樹が伐採されてスギが大量植林されたうえ、多くが放置されています。スギでは山の保水力も、生物の多様性も低下してしまっています。さらに、里山での様々な営みが失われるに伴い、人との繋がりが薄れているように思います。このままでは、貴重な里山も、そこに住む生物も、そして、魅力も失われてしまいます。

◆魅力を高めるには？
勝山の里山はまだまだ魅力にあふれています。8月に勝山に滞在された秋篠宮様は、生物の多様性について驚かれておりました（私が滞在中に案内をさせていただきました）。里山は、今や宝物なのです。まずは、里山の価値、生物、機能などについて、市民がしっかり知ることが大切です。

そして、これからの里山を維持していくような行動ができるよう、皆さんで話し合いませんか？



平泉寺区